

造園・景観計画学特論演習（2単位）

担当者氏名 麻生 恵・鈴木 誠・服部 勉・栗野 隆

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

実際の対象地域を設定した演習を通して、計画理論の適用と計画技術の習得を図る。具体的には、地域の景観計画、レクリエーション計画、地域資源を活かしたまちづくり、地域資源の管理計画など様々なテーマを設定して、調査、企画、計画、管理運営、プレゼンテーション、ワークショップなどの一連の計画技術の修得を図る。また、対象地域の住民、市民グループ、行政担当者など計画の主体となる人々との交流の機会もなるべく取り入れ、生きた体験ができるようにする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

フィールド	調査・分析	対象地の理解	計画理念の検討
計画（プランニング）	プレゼンテーション	計画書作成	地域住民との交流

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	演習のねらい、方法、日程、成果品、評価方法等	シラバスを事前学習
2	現地見	日帰りで現地見	
3	事前のスタディ作業(1)	計画課題の検討、調査方法の検討	対象地の状況をあらかじめ理解しておく
4	事前のスタディ作業(2)	調査図面の作成等	
5	現地調査合宿(1)	1日目午後（現地集合、ガイダンス等）	現地見で収集した資料の整理をしておく
6	現地調査合宿(2)	2日目午前（調査）	
7	現地調査合宿(3)	2日目午後（調査、検討会）	
8	現地調査合宿(4)	3日目午前（計画作成作業）	
9	現地調査合宿(5)	3日目午後（現地報告会）	
10	現地調査合宿(6)	4日目午前（調査のまとめ、解散）	
11	計画報告書の作成(1)	グループで報告書作成作業1	現地での演習資料を持
12	計画報告書の作成(2)	グループで報告書作成作業2	参し確認して、学内で
13	計画報告書の作成(3)	グループで報告書作成作業3	計画報告書の作成
14	計画報告書の作成(4)	個人レポート作成	
15	まとめ	プレゼンテーション	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

個人レポート（100%）

◆オフィスアワー

aso@nodai.ac.jp 水曜日3限・4限

◆その他受講上の注意事項：現地合宿調査は夏休み期間中に実施予定 日程は後日連絡・掲示